

ファイザー

公募型医学教育プロジェクト助成 多発性骨髄腫領域における治療環境 およびサバイバーシップの向上

社内審査プロセス



本公募の概略

本公募は、多発性骨髄腫患者の診断・治療・包括的ケアや社会的サポートに関する治療環境の向上を促進する医療従事者向け医学教育的プロジェクトの募集です。



対象国

日本



対象疾患 / 目的

血液がん(多発性骨髄腫)を対象疾患とし、治療環境の向上を促進する医療従事者向け医学教育的プロジェクトに対してファイザーがサポートすることを目的としています。

締切日等 スケジュール

- 公募締切日: 2023年6月30日
- 審査結果通知: 2023年8月
- 助成金を使用したプロジェクトの開始日: 2023年11月1日



助成額 / プロジェクト実行期間

プロジェクト1件あたりの上限額: 7,000,000円

助成金を使用したプログラムの実行: 2023年11月~2026年3月



I. 応募資格

対象国：

- 日本

申請団体要件：

- 以下の施設・団体に所属し、その所属施設・団体として申請してください。個人として申請することはできません。
 - 大学、大学病院、地域中核病院、その他医療系の教育機関
 - 医療系の学会・研究会等
 - 医療系の財団法人、NPO 法人など（疾患領域に関する活動を行っている法人、患者会、患者支援団体など）
 - 医師会・薬剤師会・歯科医師会
- 他施設／他団体と連携したプロジェクトの場合、すべての施設・団体が意味のある役割を果たし、その中でも申請する施設・団体が最も重要な役割を果たすこととします。
- 応募の際には、各所属施設・団体からの了解を得てください。

II. 公募詳細

公募開始日：

- 2023年2月22日

公募対象疾患：

- 血液がん（多発性骨髄腫）

本公募の目的：

多発性骨髄腫の治療成績は分子標的薬や抗体薬を含む新規薬剤の登場により向上し、患者の予後は大きく改善され、長期生存も望めるようになりつつあります^{1,2)}。その一方で、個々の患者の状態や環境に応じた治療法の意義や経済的影響についての情報提供、支援は未だ十分とは言えず、最新の知見に応じて支援体制を刷新していく必要があります³⁻⁵⁾。

このような近年の治療の変化および医療ニーズを踏まえ、多発性骨髄腫患者の治療環境およびサバイバーシップの向上につながる教育プロジェクトを支援します。

本公募では以下のような課題に取り組む教育プロジェクトを公募しますが、これらの課題に限るわけではありません。

- 高齢患者とその家族に対する行政、地域医療のサポートを促進するための教育プロジェクト
- 高齢患者の疾患や治療法に対する理解の促進を目的とした教育プロジェクト
- 医療従事者に対する、患者の骨病変や臓器障害等に関連した不安（日常生活、社会活動の制限）の緩和法の普及を目的とした教育プロジェクト
- 日本における多発性骨髄腫診療の実態の理解を促進することを目的とした、国内の様々なデータソースや

実臨床のデータを用いた教育活動

- 多発性骨髄腫の治療薬の作用機序、治療によるベネフィット・リスク、治療における費用負担を患者および患者家族にわかりやすく紹介し、安心して治療に臨める環境を構築することを目的とした教育プロジェクト
教育プログラムの形式は、イベント、サテライトシンポジウム、ハンズオンセミナー、ワークショップ、オンラインコース、印刷物、デジタルツールなど、が考えられます。

注意事項: 臨床試験(介入／非介入)、非臨床試験、疫学研究、レジストリー構築等の研究を含むプロジェクトは本公募の対象外です。また COI の観点より、診療ガイドラインやガイダンス等の作成が含まれるプロジェクトも助成対象外とします。

教育プロジェクトの対象者(受講者):

- 医師、看護師、薬剤師、検査技師、その他多発性骨髄腫患者の検査・診断・治療・包括的ケアや社会的サポートに携わる医療従事者

本公募の助成額:

- プロジェクト1件あたりの助成上限額: 7,000,000 円

スケジュール:

- 公募開始日: 2023 年 2 月 22 日
- 公募締切日: 2023 年 6 月 30 日 (アメリカ東部時間)
- 審査結果通知: 2023 年 8 月
- 助成金は教育助成契約締結後に支払われます。
- 助成金を使用したプロジェクトの実行: 2023 年 11 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

申請方法:

- 以下の URL をクリックし、オンラインにて、ファイザー米国本社の申請システムよりお願いします。
<https://www.cybergrants.com/pls/cybergrants/>
- 初めて申請をされる方は、まず“Create your password”をクリックし、アカウント登録を完了してください。
- 申請に際しては、こちらの[申請の手引き](#)をご参照ください。
 - “Are you replying to a Request for Proposal as part of the Competitive Grant Program?” の質問には **必ず Yes** を選択してください。
 - Competitive Grant Program Name の選択では、“2023 ONC JP: Improving Treatment Environment for Multiple Myeloma”を選択してください。
 - Primary Area of Interest の選択では“Oncology – Hematologic”を選択してください。
- 申請に必要な情報を申請システムに英語で入力し、Page 5 の「プロジェクト申請書様式」を参照の上、プロジェクト申請書 (Letter of Request/Agenda/Project Description) を作成しシステム内にアップロードしてください。
プロジェクト申請書 (Letter Of Request/Agenda/Project Description) のみ日本語での記載が可能です。
- **注意事項:** 申請タイプを間違えて提出がなされた場合、または締め切り後に提出された場合は、その理由如何によらず、受領できないことを予めご了承ください。

お問い合わせ:

- ファイザー MEG-J事務局
megjapan@pfizer.com
- お問い合わせ際、件名に、今回の公募タイトル「多発性骨髄腫領域における治療環境およびサバイバーシップの向上」をご記載ください。

助成契約:

- 助成金が承認された場合、ファイザーと書面による助成金契約を結ぶ必要があります。契約の主要な条件を表示するには、[こちら](#)をクリックしてください。
- ファイザーはバランスが取れ、合理的であるように、且つファイザー/申請団体両者の目的を推進するために、これらの契約条件を定めました。助成金契約の手続きには多くのリソースが必要となります。そのため、申請を進める前に、所属施設・団体(法務部門を含む)がこれらの条件を順守できることを確認してください。

審査:

- 本公募により受け付けた助成申請は、ファイザーが最終的な助成金決定を行うために審査します。

その他注意事項:

- ご申請後の連絡(採択結果含む)はメールにて行います。
- レビューに必要な追加情報・資料の提出などを依頼することがありますので、予めご了承ください。
- 助成プロジェクト開始後、半年に1度、進捗を報告頂きます(中間報告)。また、プロジェクト終了後、最終報告を提出していただきます。
- 助成契約締結後、止むを得ない事情により、申請内容(プラン、スケジュール、助成金使途、プロジェクトメンバーなど)に変更が生じた場合は、必ずご連絡ください。

リファレンス

- 1) 木崎 昌弘 日本内科学会雑誌 2021 年 110 巻 Suppl 号 p. 115a.
- 2) 中世古 知昭 日本内科学会雑誌 2020 年 109 巻 5 号 p. 987-994.
- 3) 平井 啓, 山村 麻予, 鈴木 那納実, 小川 朝生 Palliative Care Research 2021 年 16 巻 1 号 p. 27-34.
- 4) 森田 公美子 日本がん看護学会誌 2021 年 35 巻 論文 ID: 35_322_morita.
- 5) American Cancer Society <https://www.cancer.org/cancer/multiple-myeloma/treating/by-stage.html>

ファイザー Global Medical Grants について

ファイザー Global Medical Grants (GMG) は、医療関連団体自らが立案・実行するプロジェクト(ファイザーが注力する疾患領域における、患者さんのアウトカムを改善・向上させるための研究、医療の質を改善するプロジェクト、教育プロジェクト)を支援します。

ファイザー GMG の公募型医学教育プロジェクト助成では、公募要項(RFP)を弊社 Web サイトに公開しています。公募要項には、公募の目的・締切日等のスケジュール・最終的な助成決定がファイザー社内で行われる点などの詳細が記載されています。申請団体は、各 RFP に記載されている“ナレッジギャップ”を埋めることができるような教育プロジェクトの立案をしてください。

教育プロジェクトの立案・実行は、申請団体の責任のもとに行い、ファイザーがそれらに関与することは一切ありません。

プロジェクト申請書様式

表紙にはプロジェクトタイトル、作成日及びバージョンを記載してください。本申請書は、日本語での記載が可能です。

プロジェクトの背景・目的

- プロジェクトの背景・目的を簡単に記載してください。
- 学習および期待される成果の観点から、プロジェクトで達成する予定の目的を列挙してください。

プロジェクトのニーズ評価

- プロジェクトを実行する必要性を、現在の状況(プロジェクト対象者のレベルなど)をふまえ、記載してください。(定量的データがあれば望ましい)

プロジェクト対象者(受講者)

- プロジェクトの主な対象者(受講者)を記載してください。
- 対象者の数を記載してください。

プロジェクトプラン・スケジュール

- プロジェクトの具体的な実施方法や、マイルストーンをどのように設定しているのか記載してください。
- プロジェクトの詳細なスケジュールを記載してください。(表形式が望ましい)

プロジェクトの評価・結果の測定

- ナレッジギャップが解消されたかどうか、プロジェクトの評価を測定する指標を用い、どのように判定するのか、以下の項目を含め、記載してください。
 - 判定に使用するデータソース
 - データの収集・分析方法
 - 評価結果とプロジェクトとの因果関係を判断する方法
- プロジェクトの予想成果を“対象者”の観点から定量化してください。(例:ベースラインから10%上昇する)

プロジェクトの画期性

- 応募プロジェクトの画期性について、他のプロジェクトや応募プロジェクトに先駆けて実施した(もしくは進行中の)プロジェクトがあれば、それらと比較して記載してください。

プロジェクト終了後の展開

- プロジェクト終了後、成果・結果をどのように展開していくか、どのように教育を継続させていくことを考えているか記載してください。

その他、プロジェクトに関する追加情報

- その他、上記以外の情報があれば、記載してください。

次頁へ続く

申請団体・プロジェクトメンバー

- 申請団体についての詳細を記載してください。
- プロジェクトメンバーを記載してください。
- 応募プロジェクトでパートナーとなる団体(施設)がある場合は、その団体(施設)名称を記載し、その団体(施設)の役割を明確にしてください。

予算明細

- プロジェクト実行に必要な費用のみ計上可能です。費用の明細を記載ください。(表形式が望ましい)
ただし、弊社からの助成金は**以下費目には使用できません**。
 - 個人費用(懇親会費などの飲食費用、プロジェクト対象者の参加費・交通宿泊費など)
 - プロジェクト終了後に申請団体の資産となりえるもの(パソコン、ソフトウェア、カメラ、医療機器など)、医薬品、テキスト・教科書の購入
 - プロジェクトメンバーの人件費(給与・謝礼)
 - プロジェクトメンバーが知識習得のために参加する学会等への参加費・交通宿泊費
- 施設へのオーバーヘッド(間接費用)は、プロジェクト費用の28%を上限に計上することができます。ただし、間接費用を計上される場合でも、本公募で定めたプロジェクト1件あたりの上限額を超えることはできません。
- 消費税込みで記載してください。